


FMV- 717GTX7

ハードウェアガイド・ダイジェスト

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

はじめに	3
添付のマニュアルについて	3
製品の呼びかた	3
FMV マニュアルの参照	3
各部の名称と働き	4
パソコン本体前面	4
パソコン本体背面	5
設置について	6
設置する場所	6
設置例	6
接続について	6
ディスプレイ／キーボード／マウス／LAN ケーブルを接続する	6
電源ケーブルを接続する	7
電源を入れる	8
注意事項	8
電源の入れかた	8
電源を切る	9
注意事項	9
電源の切りかた	9
ディスプレイの交換	10
画面に何も表示されないときは	10
BIOS をご購入時の設定に戻す	10
BIOS が表示するメッセージ一覧	11
メッセージが表示されたときは	11
メッセージ一覧	11

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本パソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本パソコンをお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本パソコンをお使いください。

また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

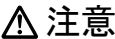
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。




・原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。
--	--

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

はじめに

添付のマニュアルについて

本パソコンには、次のマニュアルが添付されています。

●はじめにお読みください

梱包物一覧、および最初に行う操作などを説明しています。

●ハードウェアガイド・ダイジェスト（本書）

パソコン本体の各部の名称、電源の入れ方など、『ハードウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。

なお、お使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

●ソフトウェアガイド・ダイジェスト

Windows のセットアップ方法、リカバリ方法など、『ソフトウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。

なお、お使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

●FMV マニュアル（⇒▶ P.3）

PDF 形式のファイルとして、「ドライバーズ CD / マニュアル CD」に収録しています。

『ハードウェアガイド』や『ソフトウェアガイド』など、本パソコンの使いかたを説明したマニュアルを用意しています。状況に応じてご覧ください。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	Windows
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT	
ドライバーズ CD / マニュアル CD	ドライバーズ CD	

FMV マニュアルの参照

本書に記載されていない内容は、『ハードウェアガイド』と『ソフトウェアガイド』に記載されています。これらは「ドライバーズ CD」内の「FMV マニュアル」（Manual.pdf）からご覧になれます。

重要

- ▶ 周辺機器の取り付けなど、パソコン本体の電源を切ってから行う操作の場合は、事前に該当するページを印刷するか、他の装置で参照してください。
- ▶ 「FMV マニュアル」をハードディスクにコピーして使用する場合は、「ドライバーズ CD」内の「Manual.pdf」と「Manual」フォルダを同一フォルダにコピーしてください。

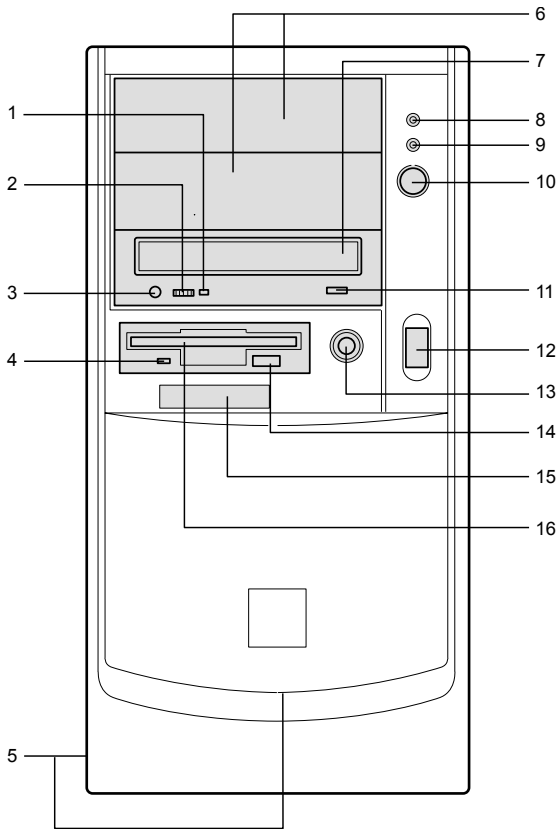
- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 CD-ROM のドライブアイコンをダブルクリックし、「Manual.pdf」をダブルクリックします。
Acrobat Reader 4.0 が起動し、目次が表示されます。
- 4 参照したいマニュアルの名称をクリックします。

重要

- ▶ CD-ROM ドライブを搭載していない装置の場合は、他の装置で参照するか、ネットワーク上の共有ドライブで参照してください。

各部の名称と働き

パソコン本体前面



1 BUSY ランプ

CD-ROM からデータを読み込んでいるときや音楽 CD を再生しているときに点灯します。

2 ヘッドホンボリューム（音楽 CD のみ）

ヘッドホンを接続したときに、ヘッドホンの音量を調整します。

3 ヘッドホン端子（音楽 CD のみ）

市販のヘッドホンで音楽 CD を聴くときに、ヘッドホンを接続します。

4 フロッピーディスクアクセス表示ランプ

フロッピーディスクにデータを書き込んだり、フロッピーディスクからデータを読み込んだりしているときに点灯します。

5 通風孔（側面およびフロントパネル下部）

冷却のために空気を取り込みます。

6 フロントアクセスベイ

内蔵 SCSI オプション（光磁気ディスクドライブなど）、内蔵 IDE オプション（ハードディスクなど）を取り付けます。

内蔵オプションは、外付けタイプの機器と異なり、電源をパソコン本体からとるため、コンセントを必要としません。また、省スペースというメリットもあります。

IDE-RAID モデルでは、HDD 用フロントアクセスユニット 2 基が搭載されているので、内蔵オプションを取り付けることはできません。

7 CD-ROM ドライブ

CD-ROM のデータやプログラムを読み出したり、音楽用 CD を再生したりします。

8 ハードディスクアクセス表示ランプ

ハードディスクにデータを書き込んだり、ハードディスクからデータを読み込んだりしているときに点灯します。

IDE-RAID モデルの場合、増設したハードディスクにアクセスしたときに点灯します。

9 電源ランプ

パソコン本体に電源が入っているときに緑色に点灯します。

スタンバイ状態（省電力状態）時にはオレンジ色に点灯します。

10 電源スイッチ

パソコン本体の電源を入れるときや、スタンバイ状態（省電力状態）にするときに押します。

11 EJECT ボタン

CD-ROM をセットするときや取り出すときに押します。

12 USB コネクタ

カバーを上をスライドさせて、USB 規格の機器を接続します。

※接続に関しては、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

13 リセットスイッチ

メモリ内のデータを消去して、OS などのソフトウェアを再び読み込ませるときに押します。

14 フロッピーディスク取り出しボタン

フロッピーディスクを取り出すときに押します。フロッピーディスクアクセス表示ランプが点灯しているときは、押さないでください。

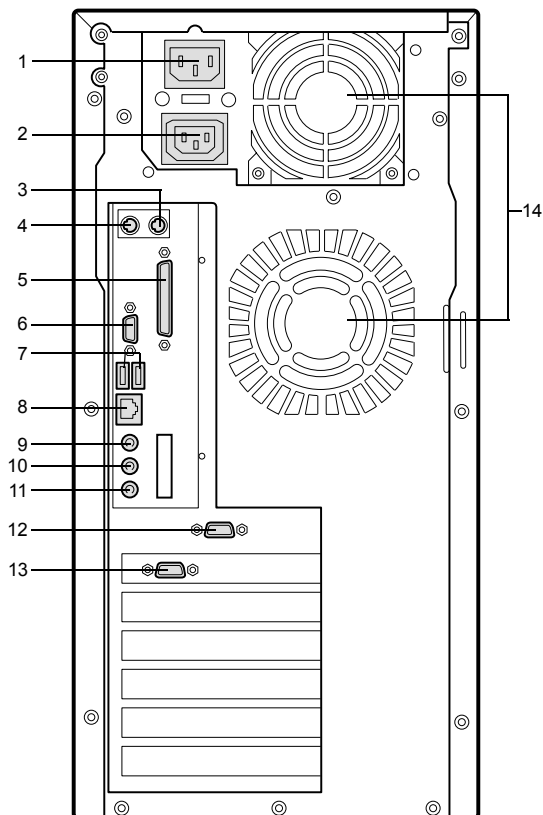
15 スマートカードベイ

カスタムメイドのスマートカードリーダー/ライターを取り付けます。

16 フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクにデータを書き込んだり、フロッピーディスクからデータを読み込んだりします。

パソコン本体背面



1 インレット

電源ケーブルを接続します。

2 アウトレット

ディスプレイの電源ケーブルを接続します。

3 マウスコネクタ (🖱️: MOUSE)

マウスを接続します。

4 キーボードコネクタ (🖱️: KEYBOARD)

キーボードを接続します。

5 パラレルコネクタ (PRINTER)

プリンタのケーブルを接続します。

6 シリアルコネクタ (RS232C (1))

モデムなど RS-232C 規格の機器のケーブルを接続します。

7 USB コネクタ

USB 規格の機器を接続します。

※接続に関しては、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

8 LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。

9 LINE OUT 端子

サウンド出力用端子。オーディオ機器の入力端子を接続します。

スピーカーを直接接続する場合は、アンプ機能内蔵のものをお使いください。

10 LINE IN 端子

サウンド入力用端子。オーディオ機器の出力端子を接続します。

11 MIC IN 端子

市販のコンデンサマイクを接続します。

12 シリアルコネクタ (RS232C (2))

モデムなど RS-232C 規格の機器のケーブルを接続します。

カスタムメイドのスマートカードリーダー/ライターが取り付けられている場合、本コネクタはありません。

13 CRT コネクタ

アナログ RGB 規格のディスプレイケーブルを接続します。

14 通風孔

パソコン本体内部の熱を外部に逃すための開孔部です。

設置について

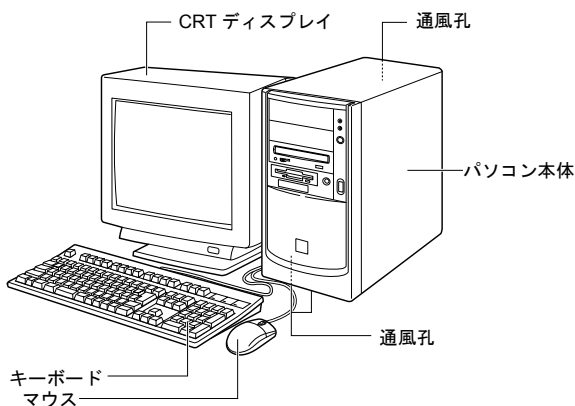
設置する場所

本パソコンを設置する場合は、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- 10℃未満の低温になる場所
- 電源ケーブルに足が引っかかる場所
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所

設置例

本パソコンは次のように設置してください。



POINT

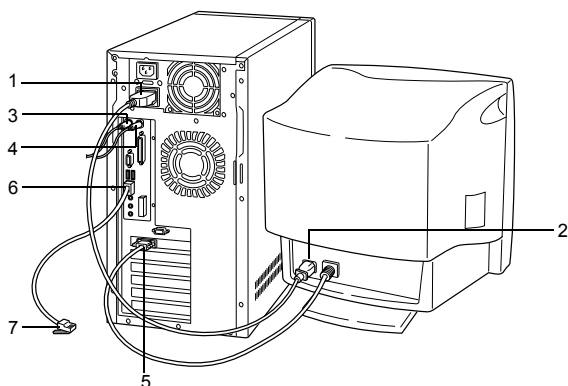
- ▶ パソコン本体の側面、底面および背面の通風孔をふさがないように設置してください。

接続について

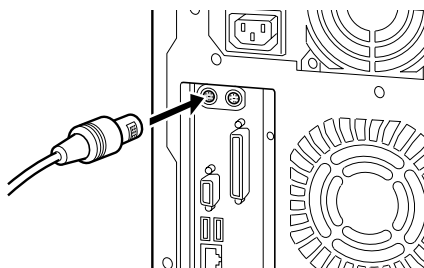
ディスプレイ／キーボード／マウス／LAN ケーブルを接続する

POINT

- ▶ ここでは、ディスプレイの電源をパソコン本体からとる場合の接続方法について説明しています。この場合、ディスプレイに添付の電源ケーブルは使いません。
- ▶ LAN ケーブルは、別売のツイストペアケーブルをご購入のうえ、お使いください。

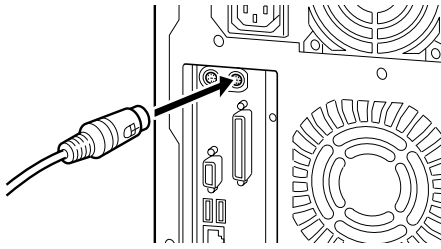


- 1** 電源ケーブルをアウトレットに接続します。
添付の電源ケーブル（CRT 用）の片方のプラグを、パソコン本体のアウトレットに接続します。
- 2** 電源ケーブルをディスプレイに接続します。
添付の電源ケーブル（CRT 用）の片方のプラグを、ディスプレイ背面のインレットに接続します。
- 3** キーボードを接続します。
キーボードケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右側に向け、キーボードコネクタの色とパソコン本体背面のキーボードラベルの色が合うように接続します。



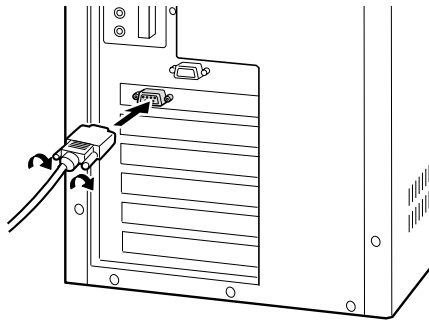
4 マウスを接続します。

マウスケーブルのコネクタに刻印されているマークを右側に向け、マウスコネクタの色とパソコン本体背面のマウスラベルの色が合うように接続します。



5 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。

ディスプレイケーブルのコネクタを、パソコン本体背面のディスプレイコネクタに接続し、ディスプレイケーブルのコネクタのネジを締めます。



Windowsのセットアップをまだ行っていない場合は、「電源ケーブルを接続する」(▶▶ P.7)に進んでください。セットアップ前にLANケーブルを接続すると、セットアップ時にエラーが起こる場合があります。セットアップ終了後、LANケーブルを接続してください。

6 LANケーブルを接続します。

別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタを、パソコン本体背面のLANコネクタに接続します。

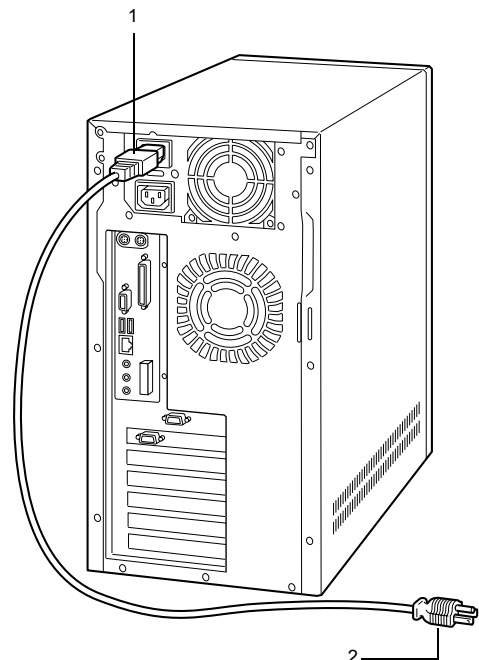
7 LANケーブルを接続します。

別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタを、ハブユニットなどのネットワークのコネクタに接続します。

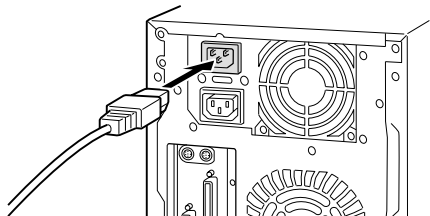
電源ケーブルを接続する

ディスプレイなどの周辺装置を接続したら、次の点に注意して電源ケーブルを接続してください。

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
- 重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。
- 電源ケーブルやプラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは、お使いにならないでください。
- プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、かわいた布でよく拭いてください。
- 電源ケーブルは、家庭用電源 (AC100V) に接続してください。
- 電源ケーブルは、タコ足配線をしないでください。また、キーボードケーブルやマウスケーブルとからまないようにしてください。
- 近くで雷が起きたときは、プラグをコンセントから抜いてください。
- 2ピンのコンセントに接続する場合は、添付のアダプタプラグを使い、必ずアース線を接続してください。
- プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。
- プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 長期間お使いにならないときは、安全のため必ずプラグをコンセントから抜いてください。



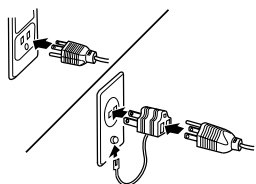
- 1 電源ケーブルのプラグをパソコン本体背面のインレットに接続します。



- 2 電源ケーブルのプラグをコンセント（AC100V）に接続します。

片方のプラグを、コンセントに接続します。コンセントが2ピンの場合は、添付のアダプタブラグを取り付けてから、コンセントに接続します。

アダプタブラグに付いているアース線を、アース端子のネジにネジ止めます。



電源を入れる

注意事項

- 画面に何も表示されない場合は、ディスプレイのケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整してください。
- 自己診断（POST）の結果、異常があればメッセージ（●▶ P.11）が表示されます。
- ディスプレイの電源ケーブルを本パソコンに接続している場合、ディスプレイの電源は本パソコンの電源と連動して入ります。そのため、ディスプレイの電源スイッチは一度押しておけば、以後操作する必要はありません。次回からは手順2の本体の電源スイッチを押すだけで電源が入ります。ただし、ディスプレイ以外の機器は、あらかじめ電源を入れておく必要があります。
- 本パソコンの電源とディスプレイの電源を連動させない場合は、本パソコンの電源を入れる前に、ディスプレイの電源を必ず入れてください。
- 電源を入れたあとすぐに電源を切る場合は、OS が起動してから「電源を切る」（●▶ P.9）に従って電源を切ってください。
- フロントアクセスユニットを搭載している場合（IDE-RAID モデルなど）は、電源を入れる前にフロントアクセスユニットの鍵が閉められていることを必ず確認してください。
- 電源を切ったあとすぐに電源を入れる場合は、10 秒以上間隔をあけてから行ってください。

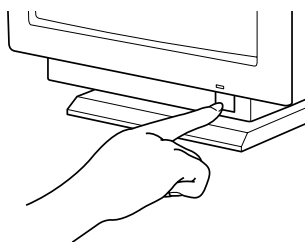
電源の入れかた

⚠ 注意



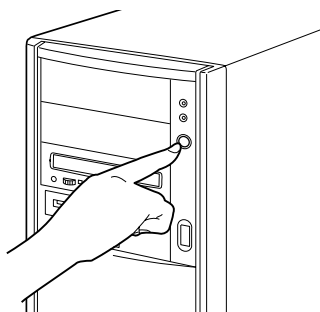
- 電源を入れたら、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

- 1 ディスプレイなどの機器の電源スイッチを押します。この時点では、画面には何も表示されません。



2 本体の電源スイッチを押します。

ディスプレイと本体の電源ランプが点灯します。
電源が入ると、ディスプレイに「FUJITSU」のロゴを表示後、システムが起動します（「FUJITSU」のロゴが表示されている間に自己診断が行われています）。



電源を入れたあとは、Windows のセットアップを行います（▶『ソフトウェアガイド・ダイジェスト』参照）。

POINT

- ▶ IDE-RAID モデルの場合、電源を入れたあとに BIOS セットアップを起動し、次の設定を行ってから、Windows のセットアップを行ってください。
 - ・「Main」－「Boot Options」－「Quick Boot」: Disabled

電源を切る

注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切る前に、フロッピーディスクやハードディスクのアクセス表示ランプ（▶ P.4）が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりするおそれがあります。

電源の切りかた

■Windows 2000 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

POINT

- ▶ 次のように電源を切ることもできます。
 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「Windows のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。
 2. 「シャットダウン」をクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
 3. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

■Windows NT の場合

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「コンピュータをシャットダウンする」をクリックし、「はい」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

POINT

- ▶ 「電源を切断しても安全です。」というメッセージが表示されて、電源が自動的に切れない場合は、電源スイッチを押して電源を切ってください。BIOS セットアップの「Power」－「APM」が「Disabled」に設定されている可能性があります。自動的に電源を切るためには、「Enabled」に設定する必要があります。
- ▶ 次のように電源を切ることもできます。
 1. 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 キーを押します。
「Windows NT のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。
 2. 「シャットダウン」をクリックします。
「コンピュータのシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
 3. 「シャットダウン後、電源を切る」をクリックして「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

ディスプレイの交換

仕様の異なるディスプレイ（特に液晶ディスプレイ）に交換する場合、画面が表示されないなどの表示異常が発生することがあります。その場合、次の手順でディスプレイを交換してください。

■Windows 2000 モデルの場合

- 1 解像度を 640 × 480、色数を 256 色に設定します（ディスプレイ交換前）。
- 2 リフレッシュレートを「60Hz」に設定します（ディスプレイ交換前）。
- 3 Windows を終了させてパソコン本体の電源を切り、ディスプレイを交換します。

上記設定を行わずにディスプレイを交換して、画面が表示されない、または表示できない解像度がある場合、次の手順でディスプレイドライバを再インストールしてください。

- 1 Windows を「VGA モード」で起動します。
- 2 ディスプレイドライバを再インストールします。

■Windows NT モデルの場合

- 1 パソコンの電源を切り、ディスプレイを交換します。
- 2 Windows NT Workstation Version4.00 [VGA mode] で起動します。
- 3 ディスプレイの仕様に合わせて解像度、色数、リフレッシュレートを設定し、再起動します。

画面に何も表示されないときは

画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。

- ディスプレイの電源スイッチは入っていますか。
- 省電力モードが設定されていませんか。
マウスを動かさずか、どれかキーを押してください。電源ランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの S3 に移行している可能性があります。電源スイッチを押してください。電源スイッチを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源スイッチを 4 秒以上押し続け、電源を一度切ってください。
- ディスプレイのケーブルは、正しく接続されていますか。
- ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットに接続されていますか。

⚠ 注意



- ケーブルは、必ず電源を切ってから接続し直してください。感電の原因になります。

- ディスプレイのブライトネス／コントラストボリュームは正しく接続されていますか。
ブライトネス／コントラストボリュームで画面を調節してください。
- メモリ等の増設したユニットは、正しく搭載されていますか。

BIOS をご購入時の設定に戻す

「Exit」メニューの「Get Default Values」を実行したあとに、下記の設定を変更してください。

なお、下記の場合以外は、設定変更する必要はありません。

- Windows 2000 の IDE-RAID モデルの場合
 - ・「Power」－「ACPI S3」: Disabled
 - ・「Main」－「Boot Options」－「Quiet Boot」: Disabled
- Windows NT の IDE-RAID モデルの場合
 - ・「Main」－「Boot Options」－「Quiet Boot」: Disabled

BIOS が表示するメッセージ一覧

メッセージが表示されたときは

「メッセージ一覧」(▶▶ P.11)に記載の処置や次の処置を行ってください。

●BIOS セットアップを実行する

BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示された場合は、BIOS セットアップを再実行してください。

●周辺機器の取り付けを確認する

拡張カードなどを取り付けているときは、それらが正しく取り付けられているか確認してください。また、カードの割込みレベルなど正しく設定されているかどうかも確認してください。このとき、拡張カードに添付のマニュアルや、ユーティリティソフトがある場合は、それらのマニュアルもあわせてご覧ください。

処置を実施しても、まだエラーメッセージが発生する場合は、本パソコンが故障している可能性があります。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

メッセージ一覧

本パソコンが表示するメッセージの一覧は、以下のとおりです。

●Invalid NVRAM media type

システム情報が壊れています。BIOS の設定を、ご購入時の設定に戻してください (▶▶ P.10)。

●System RAM Failed at offset : xxxx

Failing Bits : zzzz zzzz

システムメモリテスト中に、アドレス xxxx でエラーが発生しました。メモリを使っているときは、メモリを取り外して再度確認してください。本メッセージが表示されなくなったときは、メモリの異常が考えられます。他のメモリと交換して再度確認してください。

●Extended RAM Failed at offset : xxxx

Failing Bits : zzzz zzzz

増設メモリテスト中に、アドレス xxxx でエラーが発生しました。メモリが正しく取り付けられているか、または弊社純正品であるか確認してください。

●Keyboard controller error

キーボードコントローラテストでエラーが発生しました。いったん電源スイッチを押して電源を切り、10 秒以上待ってから再度電源を入れてください。

●Diskette drive A error

フロッピーディスクドライブテストでエラーが発生しました。BIOS セットアップの「Main」メニューの「Diskette A」の項目が正しく設定されているか、フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているか、確認してください。

●Incorrect Drive A type - run SETUP

フロッピーディスクドライブのタイプ設定に誤りがあります。BIOS セットアップの「Main」メニューの「Diskette A」の設定を確認してください。

●Fixed Disk Controller Failure

ハードディスクコントローラへのアクセス中にエラーが発生しました。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●Failure Fixed Disk n

ハードディスクドライブの設定に誤りがあります。BIOS セットアップの「Main」メニューの「IDE Drive 1/2/3/4」の設定を確認してください。

●System timer error

電源を入れ直してください。

●Real - time clock error

電源を入れ直してください。

●PCI Parity Error

I/O バスでパリティエラーが発生しました。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●System cache error - Cache disabled

キャッシュメモリのテスト中にエラーが発生しました。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●Shadow RAM Failed at offset: nnnn

システム RAM でエラーが発生しました。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●System battery is dead - Replace and run SETUP

バッテリーの交換が必要です。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●System CMOS checksum bad - Default configuration used

BIOS セットアップに入って各設定を確認して、再度保存してください。

●Previous boot incomplete - Default configuration used

前回、本パソコンを正しく起動することができなかったために、一部の設定を標準設定値で行いました。BIOS セットアップの内容を誤って設定して起動できなかったときや、起動途中で電源を切ったとき、3 回以上同じ操作で再起動させると、本メッセージが表示されます。そのまま起動する場合は【F1】キーを、BIOS セットアップを起動して設定内容を確認する場合は【F2】キーを押してください。

● **Press <F1> to resume, <F2> to setup**

POST 中にエラーが発生すると OS を起動する前に本メッセージを表示します。【F1】キーを押すと OS の起動を開始します。【F2】キーを押すと BIOS セットアップに入って、設定を変更することができます。

● **Check date and time settings**

「System Time」と「System Date」の設定を確認してください。

● **Invalid system disk**

Replace the disk, and then press any key

フロッピーディスクドライブにシステム以外のフロッピーディスクをセットしたまま電源を入れると、表示されます。フロッピーディスクを取り出して何かキーを押してください。

● **Non - System disk or disk error**

Replace and press any key when ready

フロッピーディスクドライブにシステム以外のフロッピーディスクをセットしたまま電源を入れると、表示されます。フロッピーディスクを取り出して何かキーを押してください。

● **Operating system not found**

OS が見つかりませんでした。BIOS セットアップでドライブが正しく設定されているか、指定したドライブに OS が入っているかを確認してください。

● **PXE-E61:Media test failure, Check cable**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。LAN ケーブルが正しく接続されていません。LAN ケーブルを正しく接続してください。

● **PXE-E51:No DHCP or BOOTP offers received**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。起動時に必要な IP アドレスが取得できませんでした。DHCP サーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「Advanced」メニューの「LAN Remote Boot」を「Disabled」に設定してください。

● **PXE-E53:No boot filename received**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「Advanced」メニューの「LAN Remote Boot」を「Disabled」に設定してください。

● **PXE-E78:Could not locate boot server**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「Advanced」メニューの「LAN Remote Boot」を「Disabled」に設定してください。

● **PXE-E89:Could not download boot image**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバ上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「Advanced」メニューの「LAN Remote Boot」を「Disabled」に設定してください。

● **PXE-E32:TFTP open timeout**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ネットワークブートに失敗しました。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「Advanced」メニューの「LAN Remote Boot」を「Disabled」に設定してください。

Microsoft、Windows、MS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2001

このマニュアルは再生紙を使用しています。